



vol. 10  
2019  
SPRING

# がけはし

桃山学院大学教育後援会だより

## 特集

- ◆ キャリアセンターからのお知らせ ①
- ◆ 失敗しないために心がけたい  
就活準備、就活スケジュール ②

2

1



# キャリアセンターからのお知らせ

2019年3月卒業生の就職活動環境は、文部科学・厚生労働両省の3月18日の発表によると8年連続の上昇で過去最高を更新し、学生にとって有利な「売り手市場」となりました。本学の内定率につきましても、過去最高の水準になる見込みです。この結果は「売り手市場」であったことだけではなく、就職活動に取り組む学生が頑張った結果だと思われます。また、本学では高い内定率だけではなく、大手メーカーや商社、金融機関など人気企業や優良企業から内定を獲得してくれ、しっかりと準備をして就職活動に臨んだ学生は就職先においても結果を出してくれています。一方で、多くの企業で内定式が行われる10月以降も就職活動を続けている学生も少なからずいて、就職活動が上手くいく学生と苦勞する学生の二極化が進んでいます。

2020年3月卒業予定者の就職活動環境においても「売り手市場」が続くと思われます。株式会社ディスコの企業に対する2020年3月卒業予定者の採用見込に関するアンケートでも、2019年3月卒業生の採用数と比較して「増加」が「減少」を大きく上回る回答となっています。ただ、企業が採用基準を下げることはほとんどなく、「売り手市場」とはいえ学生が理想の進路を勝ち取ることは簡単ではありません。また、2021年3月卒業予定者以降の日本経済団体連合会による「就職指針」の撤廃、本選考につながるインターンシップの実施やAIを活用した選考活動、webを活用したセミナーや面接など、企業の選考方法は多様化・複雑化する一方です。それに加えて、少子高齢化、グローバル化、IT化など我々を取り巻く社会も急激に変化しています。そういった環境の中で就職活動を成功させるためにも充実した大学生活を過ごすことが重要です。

企業の選考方法が多様化・複雑化しても、面接や書類選考で重要視されるのは大学生活で経験したことや学んだことです。本学の履歴書においても学生に「研究課題または興味ある科目」「学生生活で力を注いだこと」「自己PR」を書いてもらっています。就職活動を本格的に始める時期に、これらのことについて書くこと、話せることがない学生は就職活動で苦戦を強いられてしまいます。逆に、大学生活で何か1つでも自信を持って「これを頑張って取り組んだ」というものがある学生は就職活動を上手く進められる傾向にあります。クラブ活動、サークル活動、アルバイト、ボランティア、海外留学、資格取得など、どんなことでもいいので大学生活で必死になれるものを見つけられるように、また見つかった際にはそれに全力で取り組めるように保護者の皆様にはサポートしていただければと思います。その経験を就職活動で活かせるようにキャリアセンターが全力でサポートしていきます。

とはいえ、大学生活で何をすればいいか分からない、充実させるにはどうすればいいのか分からないこともあると思います。そのためにキャリアセンターでは1年次生から「キャリア教育」に力を入れています。例えばキャリア教育科目にある「キャリアデザインI」では将来を逆算して「今、何をしなければいけないのか?」をテーマに授業を進めます。そうすることで漫然と大学生活を過ごすことなく、少し先の将来として『就職活動や働くこと』を意識して大学生活を過ごすことができます。

ここで書かせていただいたのは、就職活動環境やキャリア教育の一部です。これらの具体的な内容や就職活動の準備については6月～7月に開催される「教育・就職懇談会」にてお伝えさせていただければと思います。



## 2019年3月卒 進路状況 (2018年9月卒含む)

(2019.3.31現在)

|      |                  |
|------|------------------|
| 卒業生数 | 1,347名 (※1,332名) |
| 就職者数 | 1,164名 (※1,138名) |
| 進学者数 | 10名 (※15名)       |
| 就職率  | 86.41% (※85.40%) |

(※は昨年同時期)

## 2019年3月卒 就職者の内訳 (2018年9月卒含む)

|              |        |
|--------------|--------|
| 就職者数         | 1,164名 |
| 民間・福祉 (公務除く) | 1,106名 |
| 公務           | 58名    |
| 福祉職          | 34名    |



# 失敗しないために心がけたい 就活準備、就活スケジュール

5月に入ると『内定が出ました』と、早期に内定を貰った学生  
の声が聞こえ始めます。

同時に、『まだ何もしていないけれど間に合いますか?』と、  
スタートに出遅れてしまい相談に来る学生や、そもそも就職活動  
のやり方が分からないと悩む学生も少なくありません。

『失敗しないために心がけたい就活準備、就活スケジュール』  
というテーマですが、本来就職活動に決められた方法は存在  
しません。最低限のマナーやルールを守れば、後は自由に考え  
本人が主体的に動くことが求められます。しかし、自由で主体  
的に行動しなければならないからこそ、どのように行動したら  
よいのか悩んでしまいます。

ここでは、キャリアセンターとして就職活動に向けて大切に  
して欲しい事について2点ご紹介させていただきます。

## 1点目は、

『**学生生活(特に1・2年生の時期)の過ごし方**』です。

就職活動では、学業やクラブ・サークル活動などを通して  
成長した経験をPRすることが大切です。

大学生活を何もせず漠然と過ごしてしまい、就職活動時期  
になって履歴書や面接で『自分は何もやってこなかったので  
履歴書に書けることがない』と相談に来る学生も少なくあり  
ません。大学生活を充実させることは就職活動のためでは  
ありません。しかしながら企業は、『学生生活において主体的  
に行動し、多くの経験から成長の機会を掴み、活かしてきた  
学生』を評価します。ぜひ1・2年生のうちから様々なことに  
チャレンジして下さい。

また、学生の本分である学業も非常に重要なポイントに  
なります。

特に修得単位数は就職活動に大きな影響を及ぼします。1・2  
年生の時に学業を疎かにしたために修得単位数が少なく、3・4  
年生になった時に就職活動に専念できなかった学生も毎年  
多く存在します。目安となる修得単位数は、3年生終了時点で  
100単位です。企業の選考は平日に実施されることが多く、  
また就職活動による公欠扱いは認められていません。そのため  
100単位以下になると授業への出席が優先となり、夏休みなど  
授業に影響しない期間でしか就職活動に専念できないため、  
結果的に満足のいく就職活動ができなくなります。採用選考の

際に大学の学業成績を重視する企業も多くなってきています。  
1・2年生のうちに学業にも専念し、計画的な単位修得を行う  
ことが必要です。

## 2点目は、

『**キャリアセンターの活用**』です。

充実した学生生活を過ごすことができ、自信を持って話  
せるエピソードがたくさんあったとして、それを履歴書や面接で  
企業側に上手く伝えられるかは別の問題です。それは学生  
が1人で考えているとついつい学生目線で物事を伝えがちに  
なってしまうからです。せっかくのエピソードを採用担当者へ  
魅力的に伝えるためにも、キャリアセンター担当者との面談は  
欠かせません。面談の中では学生の経験についてヒアリング  
し、採用担当者の視点からはどういったことを伝えることで  
学生が魅力的に見えるかをアドバイスしています。

また、キャリアセンターでは面談だけではなく就職活動の  
支援講座や学内に優良企業を招いての企業説明会も実施し  
ています。支援講座では、履歴書の書き方や志望動機の作り  
方、面接マナー講座など、就職活動のスケジュールに応じて  
『必要な時期に必要な内容』を伝えることで、スムーズに就職  
活動の流れに乗れるようにしています。

また企業説明会では、本学の学生を採用したいと考えて  
いる多くの優良企業を招き、学内施設だけではなく就職活動  
の際に頻繁に利用することになる大阪市内の施設を使用して  
行うようにしており、例年この説明会をきっかけに内定に結び  
つくことも多々あります。

『充実した学生生活を過ごすこと』と『キャリアセンターが  
実施する面談や支援講座、学内企業説明会を活用する』、  
この2点を就職活動で失敗しないためにも心がけて欲しい  
と思います。





桃山学院大学  
学長 牧野 丹奈子

最近、AIの二文字を新聞・雑誌、テレビなどで見ない日はありません。このようにAIをはじめ、さまざまな技術革新が急速に進んでいるため、これからの社会はかつてなかったほど大きく変わります。たとえば、今後20年間で今の人間の仕事の半分がAIに取って代われるとも言われています。

どのように複雑で専門的な仕事であっても、答えが存在する仕事は、AIやロボットが行なうようになるでしょう。では、人間はどのような仕事で能力を発揮すべきなのでしょうか？

それは、新しい価値をつくる仕事です。これまでになかった価値を生み出す仕事です。これからの社会で活躍できるのは言われたことをきちんとやれる人というよりも、新しい価値を生み出せる人となるでしょう。

では、新しい価値を生み出すためにはどのような力が必要でしょうか？色々ありますが、重要な力の一つとして「気づく力」があげられます。ここでいう気づく力とは、現実の中から様々なことを見聞きし体験することによって、自分の考え方を変える力のことです。これは現実から学

ぶ力ともいえます。このように人は新しい考え方を手に入れることによって、斬新な発想ができ、新しい価値を生むことができるのです。

ところが同じ現実を体験しても、このような気づきに至る人と至らない人がいます。気づかない人は、いつでも自分の考え方に固執して、全ての情報に自分の考え方を当てはめて解釈する人です。気づく人は、思い込みや主義を取っ払って、自分の考え方と相反する情報も受け入れられる人です。

このような気づきの力を若い人が手に入れるためには、とにかく様々な“場”に足を運び体験することが重要となるでしょう。しかし、漫然と体験しても気づく力は手に入れられません。自分を成長させたいという強い意欲と当事者意識を持って体験してこそ、気づく力は手に入れます。

桃山学院大学では多様な体験プログラムを準備しています。“世界が変わる体験”を通じて、自分なりの気づき力を身につけてほしいと思います。

一人一人の学生が社会で新しい価値を生み出せる人になれるような教育に教職員一丸となって取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

## 聖書の言葉

「コヘレトの言葉」から

旧約聖書に「コヘレトの言葉」がある。コヘレトとは「ダビデ(王)の子、エルサレムの王、伝道者」とあり、知恵豊かなソロモン王(または王に名を借りた後代の知者)の作と思われます。その中からいくつかをあげてみます。一言ずつじっくり味わってみてください。

数字は章と節を表します。(聖書協会共同訳、2018年12月発行による)

- 1:10 見よ、これこそは新しい、と言われることはるか昔、すでにあったことである。
- 2:24 食べて飲み、労苦の内に幸せを見いだす。これ以外に人に幸せはない。それもまた、神の手から与えられるものと分かった。
- 4:9 一人よりも二人のほうが幸せだ。共に労苦すれば、彼らには幸せな報いがある。
- 4:10 たとえ一人が倒れても、もう一人がその友を起こしてくれる。一人は不幸だ。倒れても起こしてくれる友がいない。
- 4:11 また、二人で寝れば暖かいが一人ではどうして暖まれよう。
- 4:12 たとえ一人が襲われても、二人で立ち向かう。三つ編みの糸はたやすくは切れない。
- 7:2 弔い家に行くのは酒宴の家に行くにまさる。そこにはすべての人間の終りがある。生きる者はそれを心に留めよ。
- 7:3 悩みは笑いにまさる。顔が曇っても、心は晴れるのだから。

- 7:5 知恵ある者の叱責を聞くのは愚かな者の歌を聞くにまさる。
- 7:7 虐げられれば知恵ある者でさえ愚かになり、賄賂をもらえば理性を失う。
- 12:1 若き日に、あなたの造り主を心に刻め。災いの日々がやってきて「私には喜びがない」と言うよわいに近づかないうちに。
- 12:13 聞き取った全ての言葉の結論。神を畏れ、その戒めを守れ。これこそ、人間のすべてである。
- 12:14 神は、善であれ悪であれあらゆる隠されたことについてすべての業をさばかれる。



チャプレン  
宮嶋 眞

コヘレトの示す宗教の智とは、何か特別なことではなく、日々の生活の中で改善を志向し、友情を育て、謙遜に生きることではないでしょうか。



## 第18回「留学生振袖の会」開催

本部 藤原 昌子

着物の体験を通して留学生に日本の伝統文化を感じてもらい国際交流をしようとしてスタートしたこの会も、今年で18回目を迎えました。国際センターのご協力のもと、友沢昭江副学長、宮嶋眞チャプレンにもご参加いただき、地域のボランティアや近畿各支部の保護者の皆様のご尽力で、11か国20名の留学生に着付け・ヘア・メイクをしていただきました。茶道部からお抹茶の点て方やいただき方を教わったり、本部役員OBの手品を楽しんだり、総勢100名の皆様が一堂に会して、本学の建学の精神である「世界の市民」を実感した1日となりました。



### 留学生振袖の会に参加して

奈良・三重支部 山本 裕一

当日は、時折小雨の降るあいにくの空模様でしたが、会場に着物を着た留学生の皆さんが現れると、太陽がいくつも集まったかのような明るさに包まれました。

着物は日本の伝統文化の一つですが、今では着物姿で街行く人を見かけることはほとんどなくなってしまいました。私は「留学生が喜んでくれるのであれば」と、今回のボランティアに参加したのですが、着物を着て笑顔で写真を撮りあっている留学生を見ていると、反対に「大切な日本の文化を忘れないでね」と、教えてもらったような気がしました。

## 第14回

2018年12月9日(日)

## ビジネスプランコンテスト

和歌山支部 岩崎 結花

本学聖ヨハネホールにて開催されました。一次審査を経て選ばれた11組の個人・グループ21名の学生が、事業プランを10分間という短い時間内にパワーポイントを駆使しながら分かりやすく発表しました。「アイデアの面白さ」、「アイデアの具体性」、「プレゼンテーション能力」の三つの項目が審査ポイントです。審査員の方々から厳しい質問や意見をいただきながらも柔軟な対応に感心させられました。また緻密な財務計画にも目を見張るものがあり、21名中3名の女子学生の、物おじしない堂々とした発表にも大きな拍手が送られていました。最後に本学OBで特別審査員の方より「遠く未来を見据えて、展望は高く」と激励の言葉をいただきました。



### ビジネスプランコンテスト結果

- 【学 長 賞】** チーム：草田グループ  
草田 敏生(経営学部経営学科2年生)  
戸江 龍壱(経済学部経済学科2年生)  
「旅行の多次元化による社会問題への解決」
- 【同窓会会長賞】** 個人  
藤本 典子(国際教養学部英語・国際文化学科4年生)  
「新型アルコールチェッカー」
- 【教育後援会会長賞】** 個人  
山本 大河(社会学部社会学科3年生)  
「DESHIIRI～後継者マッチングプラットフォーム～」

※また、審査員特別賞は2組が獲得しました。

- ①チーム：なつくらい リターンズ  
津田 夏位(経営学部経営学科4年生)  
中村 涼(経営学部経営学科4年生)  
木村 友都(経営学部経営学科4年生)  
武田 宏樹(経営学部経営学科4年生)
- ②個人：吉谷 保乃伽(経済学部経済学科2年生)



## eat 100円朝食キャンペーン breakfast

教育後援会が  
支援しています。



2018年度までは、聖バルナバ館と隔月で行っていましたが、今年度から、聖マーガレット館2Fの食堂のみで、提供することになりました。時間は、8:30～9:30まで。1日50食限定でしたが、好評により人気メニューは状況に合わせて食数を増やしていただくことになりました。(メニューは日替わりです。)

朝食は、身体への栄養補給だけでなく、脳への栄養補給、生活習慣病予防のためにも重要です。教育後援会では学生たちに早起きして朝食を食べる習慣を身につけ、規則正しい生活リズムをつくり健康面でも学習面でも少しでも手助けできるようにと、1食200円の支援をして「100円朝食」を提供しています。





# Congratulations!

3月15日(金)、2018年度卒業証書・学位記授与式が、また4月2日(火)、2019年度入学式が、総合体育館メインアリーナにおいて執り行われました。厳かな雰囲気の中、保護者をはじめ来賓、大学関係者等大勢の方々に見守られ、挙行されました。卒業生、そして新入生の皆さん、自分の夢に向かって新たなステージでがんばってください。



## 2019年度 教育・就職懇談会／支部総会日程

2019年度も、桃山学院大学教育後援会の主要な活動の一環である「教育・就職懇談会／支部総会」が全国各地において以下のとおり開催されます。ぜひ、ご参加ください。

| 開催日     | 支部(会場) |                     |
|---------|--------|---------------------|
| 6月2日(日) | 大阪北    | 桃山学院大学              |
| 8日(土)   | 和歌山    | アバローム紀の国            |
|         | 山口     | 山口グランドホテル           |
|         | 山陰     | ANAクラウンプラザホテル       |
| 9日(日)   | 九州     | オリエンタルホテル福岡博多ステーション |
| 15日(土)  | 奈良・三重  | 橿原観光ホテル             |
| 16日(日)  | 東海     | キャッスルプラザ            |
| 22日(土)  | 京都・滋賀  | 京都タワーホテル            |
|         | 四国     | リーガホテルゼスト高松         |
| 23日(日)  | 北陸     | ホテル金沢               |
|         | 広島     | ロイヤルパーク             |
| 29日(土)  | 岡山     | サンピーチ OKAYAMA       |
| 30日(日)  | 兵庫     | 神戸三宮東急REIホテル        |
| 7月7日(日) | 大阪南    | 桃山学院大学              |



教育後援会のホームページにアクセスいただけるようQRコードを掲載しました。ぜひご利用ください。



## 優秀団体援助金

教育後援会は「大学の教育の発展と充実のための後援」を目的としていますが、その中でも学生に対する援助には6割以上の予算を組んでいます。3月に「課外活動援助金」の贈呈を行いましたのでご報告いたします。

## 課外活動援助金(優秀団体援助金)

特に優秀な成績を収めた団体に対し、奨励金として課外活動援助金を支出しています。

2018年度はハンドボール部、空手道部、日本拳法部、水泳部の4団体に贈呈いたしました。



## 第58回

## 桃山祭

momoyama-sai

## 無料休憩所

大阪南支部 上田 紫

うろこ雲が広がる晴天の下、暖かい秋の日差しに恵まれて3日間の桃山祭が行われました。その最終日に、大阪北支部／南支部の合同で今回も無料休憩所を設置。地域の方々、学生やそのご家族、OB・OGの皆様に憩いの場を提供でき、約500名の方々に利用していただけた事を嬉しく思います。来年も、チャペル前テントにて温かいお茶を飲みながらホッとできる、この休憩所に、より多くの笑顔が集まる事を役員一同、心よりお待ちしております。最後に、休憩所設営にあたりご準備いただきました大学関係者の皆様へ御礼と感謝を申し上げます。



## 福本 豊氏 講演会

## 「ベースのむこうに世界があった」

大阪北支部 浮田 裕美

桃山祭最終日、本学ハイビジョンシアターにて開催されました。福本氏は大阪出身の元プロ野球選手。通算盗塁数の日本記録保持者で「世界の盗塁王」との異名で広く知られ、野球指導者・解説者・タレント等現在も活躍中。国民栄誉賞のお声もいただいたが、自分の行動と賞の重さを考えられて辞退するという、なかなか、人にはできない器の大きい方でした。

最後に福本さんから一言!「おいあくま」

お → おごるな・おこるな

い → 威張るな

あ → あせるな

く → くさるな

ま → 間を作れ

人生をつかっていく中で大事な言葉。目標の為に一步步進む・考える事が大事!と。人間味溢れる、素敵な福本豊さんでした。



## ＜ キャンパス見学 ＞

京都・滋賀支部 矢谷 定行

当日は心地よい快晴のもと初めてキャンパス見学会に参加いたしました。他支部の方々とも一緒に案内していただき、広大なキャンパスには教室棟をはじめ、それぞれの専門分野を学ぶに相応しい施設が整っており、すべてが印象深かったです。息子が法律学科で学んでいることもあり、聖トマス館では模擬裁判教室も見学できてよかったです。図書室では約70万冊の本が配架されているとこのことで、きれいに配列された書籍の光景は圧巻でした。息子にはこの素晴らしいキャンパスで4年間学んだことの幸せを胸に、今後の人生を謳歌して欲しいと願っています。



模擬裁判教室

2018年11月18日(日)

## Volunteer Activity 第9回 ボランティア活動等発表会

兵庫支部 大木 礼子・野口 美鈴

- 大学祭の最終日に本学チャペルにて開催され、下記4団体の発表がありました。ボランティア活動を経験した学生たちはいろいろな考えや思いが広がり、これからの人生の指標となっていくことと思います。(大木)
- 初めてボランティア活動等発表会に参加しました。いろいろな活動を通して人との触れ合いの大切さや、難しいと思ったこと、皆で協力し成し遂げたときの喜びなど、貴重な体験を聞くことができ、とてもよかったです。(野口)

## 参加団体・プログラム紹介

## 1. ボランティア活動支援室 ボランティアスタッフ

本学では、学生のボランティア活動をサポートするボランティア活動支援室があり、地域に貢献できる活動をする「ボランティアスタッフ」としての活動をしています。

## 2. 国際ボランティアプログラム「インドネシアCOP」

COP (Community Outreach Program) とは、インド

ネシア協定大学です。世界各国から集結した学生たちとともに貧困の村で活動する課題解決型のプログラムです。

## 3. 国際ワークキャンプ(インドネシア)

今年で32回目のキャンプ実施。児童養護施設の子どもたちやホストファミリーとの交流会の企画・運営、地元小中学校や看護学校での日本文化の紹介等に取り組みました。

## 4. インド異文化・ボランティア体験セミナー

インドの歴史、文化、風習、習慣を学び、マザーハウスでボランティアに従事し「当たり前とは何か」「自分の意見を伝える大切さ」等、いろいろと考えさせられました。



# 大阪南支部

支部長 中西 啓之



## 就職講演会

2019年2月2日(土) 中西 啓之

昨年、参加者の皆様から高いご評価をいただきました大阪南支部主催の「就職講演会」。

今年は、更なる内容のパワーアップを目指し、『就活成功者 生の声』～SPIって何? 「一般企業」と「公務員」内定者、後進に伝えたい! 経験談とアドバイス～というタイトルで、本学トマス館T-001教室にて開催させていただきました。

就活において「SPIの重要性」が大きく取り上げられている現在ですが、残念ながら我々保護者の時代には縁のなかった事象であり「保護者」と「就活生」の間にはジェネレーションギャップという大きな溝が横たわっているのが現実です。とりわけ「就活生」においては「SPIとどう向き合っていくのか」ということが喫緊の課題になっているにも関わらず、その重要性が就活生本人もさることながら、我々保護者にはあまり伝わっていない実情が…。そこで、本企画は昨年の評価を踏まえつつも「就活本番で必要なSPI」にフォーカスを当て、かつ桃大自体がOPENキャンパス時から謳っている高い「公務員」合格実績と「一般企業」の各々就活成功者に『経験談』と『アドバイス』を語っていただき、後進に伝える会とすることを目指して企画しました。

本企画は教育後援会室、本学キャリアセンターと大阪南支部が三位一体となり進められました。特に教育後援会室ならびにキャリアセンターには、講師の選定と講演の依頼などで多大なお力添えをいただき、手前味噌ですが

大阪南支部の広報活動とも相まって結果、昨年より多い120名様のご来場をいただくに至りました。

SPI(Synthetic Personality Inventory) = 「総合的適性検査」に関しては、各企業の採用活動パートナーとして有名な株式会社学情の学校企画部副部長 岩本和彦氏にご講演を賜りました。採用側が判断されるポイントを詳細にご説明いただき、参加者全員が真剣にメモをとる光景が会場に広がりました。一般企業の就職活動体験談は経営学部経営学科4年生 武田宏樹さんが自身の就活計画と実績を時系列で詳細に講演くださり、公務員の就職活動体験談は法学部法律学科4年生 濱田生さんが同様に、ポイントをまとめてこちらも詳細にご講演くださいました。

開催後のアンケートでは「非常に参考になった」「保護者だけで聴くにはもったいない内容、ぜひ子どもに聴かせたい」「とても有意義な2時間だった」等、昨年以上に高い評価をいただきました。一方、講演内容の大学Webでの資料開示やM-Port等を活用した学生への案内について要望が出され、今後の課題も浮き彫りになったこともお伝えしたいと思います。



# 大阪北支部

支部長 西村 浩一



## ご挨拶

西村 浩一

昨年は、大阪北部地震や台風21号と大阪北支部地域で災害が続き、地震では役員2名の自宅が一部損壊し、台風では役員の半数が被害に遭いました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

2017年度大阪北支部は役員が2名という危機的状況でありましたが、昨年6月の総会で4名の方が名乗りを上げてくださり、その後もう1名お引き受けいただいたので現在7名体制で頑張っております。

活動報告といたしましては、7月からほぼ毎月役員会の開催、7月支部長研修会、10月全国支部長会議に新役員出席、11月学園祭最終日に大阪南支部と合同で無料休憩所設置、2019年1月は「留学生振袖の会」参加、大阪北支部主催「牧野学長講演会」となります。

講演会では、牧野学長による聴講者一同ビジネスをデザインする講義を実際に体験させていただきました。講義中には当てられ発言するという場面もあり、久々に学生

気分を味わわせていただきました。休憩を挟み質疑応答の時間には、出席者の多くの方から講演に関するだけでなく就活や成績、その他学生生活全般についてご質問がありましたが、牧野学長と嶋田剛統括部長のおふたりからの確なご回答をいただき、充実した時間となりました。

2019年6月2日(日)に本学で開催されます教育・就職懇談会/大阪北支部総会にはぜひともご参加ください。就活や大学の最新情報を入手され、お子様の成績や就活に関する面談とともに、教育後援会にも関心を寄せていただければと思います。





## 京都・滋賀支部

支部長 矢谷 定行



### 第6回就職支援講演会

2019年2月17日(日) 矢谷 定行

寒さもようやく和らいできた2月17日に、京都テルサにおいて講演会を開催いたしました。今回は、以前より要望の高かった牧野丹奈子学長ならびに嶋田剛大学統括部長にお越しいただき、「大学の現状と就職支援の取り組み」を中心にご講演いただきました。参加者の皆さんは大変熱心に聞き入っておられました。

後半では、京都ジョブパーク総括担当課長 義本知史氏より「京都ジョブパークの役割と地元企業の就職事情」について詳しくご講演いただきました。大学のキャリアセンターとの連携などについても理解が深められました。

また、社会学部社会学科4年生 梅本宗一さんは自身の就活体験を非常に明快に語っていただきました。中でも

印象深かったのは、就活中に親からかけられた「うれしい言葉」「うれしくない言葉」についての話です。我が家でも思い当たることが多くあり、親としても自分を見つめ直すよい機会になりました。

最後の質疑応答では、参加者より活発な意見・質問が飛び交い、閉会予定時刻を20分もオーバーした大変有意義な一日となりました。

関係各位のご尽力により、無事講演会を終えることができましたことを感謝申し上げます。次年度の開催に向けての課題としまして、当支部におきましては都市部以外の方の参加者が顕著に少なく、本部とも連携し地域による不公平感を少しでも解消すべく引き続き取り組んでまいりたいと考えている次第です。



## 奈良・三重支部

支部長 山本 裕一



### 教育・就職懇談会

2018年12月9日(日) 山本 裕一

奈良市内のホテルフジタにて開催されました。年の瀬でなにかと忙しい時期にもかかわらず、多くの方にご参加いただきましたことに厚くお礼申し上げます。

教育・就職懇談会は当初6月に予定していましたが、台風の接近で延期を余儀なくされました。一時は開催が危ぶまれましたが、再調整の後に開催できましたことは教育後援会室の皆様のご尽力と深く感謝申し上げます。

さて、「就職氷河期」と呼ばれた時代は過ぎ去り、この2~3年は景気の浮揚感を感じられないのに、業種や事業規模に関係なく“人手不足”が叫ばれています。いわゆる“売り手市場”の状況ですが、ご承知の通り“売り手市場”=“希望の企業に就職できる”というものではなく、就職希望者は気を抜くことはできません。

懇談会では、朴大栄副学長より「本学の教育方針と現状」と題してご講演いただきました。希望の企業に

就職するには何が必要なのか?出席者の皆さんは、コミュニケーション力の重要性を話される朴先生のお話にて、真剣に耳を傾けておられました。また、就職活動を終えた経営学部経営学科4年生 北株知明さんの体験報告には、多くの質問が寄せられて会場は熱気に包まれていました。



# 兵庫支部

支部長 高木 桂子



## 就職支援講演会

2018年12月3日(月) 支部長 高木 桂子

就職支援講演会を本学梅田サテライトにて開催いたしました。

初めに、小池誠副学長より「大学の現状や方針そして留学環境について」をテーマにご講演いただき、本学の取組みを学部別に、特長をまとめて分かりやすくお話していただきました。国際体験をキャンパス内でも、海外でも、学部も問わず参加できる多彩なプログラムがあり、人々を支えられるような人材養成をしてくださっていることを再認識いたしました。

続きまして、キャリアセンター 山口洋司課長補佐より「インターンシップと就職活動について」と題してご講演いただきました。インターンシップへの参加について、業界研究・自己分析・仕事研究など、就職活動の情報や傾向を要点が簡潔に理解できるよう、表にして説明していただきました。キャリアセンターによる就活支援についても、個別面談サポートによる業界や企業の研究、履歴書やエントリーシート作成、面談等一人一人に応じたアドバイスがなされ、充実した支援体制が整っている事も強く実感いたしました。

最後に、経営学部経営学科4年生 高木浩行さんの司会

で、社会学部社会学科4年生 鶴留永人さん、国際教養学部英語・国際文化学科4年生 高島潤さんから「今年度の就職活動を経験して感じたこと」を話していただきました。質疑応答ではインターンシップや就職活動に関する質問が多数出され、丁寧に回答していただきました。

参加された保護者の皆様からは、「就職活動の経験者の生の声を聞くことができ、大変参考になった」という感想をお聞きました。次回は学生の方にも多数ご参加いただき、先輩の生の声を聞いてインターンシップや就職活動に活かしてもらいたいと思います。

私事ですが、2年間支部長を務めさせていただきまして就職支援講演会が成功裡に終わりましたことを嬉しく思います。



# 和歌山支部

支部長 小南 文孝



## 第9回就職支援講演会

「ももやま・わかやまのつどい」

2019年2月10日(日) 小南 文孝

JR和歌山駅前の新橋ビルにて、50名を超える保護者の方々および学生が参加されました。今年の講演会は、「親としてやってはいけないこと、親としてやるべきこと」をテーマにジョブカフェわかやま 高幣武嗣氏、本学キャリアセンター 堀井由紀恵氏、国際教養学部英語・国際文化学科4年生 西口塔子さんにご講演いただきました。

堀井氏は本学OGとしての立場からもご講演くださいました。就活を終えたばかりの西口さんは、就活中に不安だらけの学生に対するある一言がさらに不安をおおったり、逆に両親からかけられた言葉で気持ちが前向きになれたりしたという経験談を披露されました。



講演後には、グループディスカッションを行いました。学生グループと保護者グループにわかれて、講師の方に参加者の方々から不安に思っていることや相談などを直接質問していただきました。

学生にとって、先輩に就活までの学生生活の過ごし方やインターンシップのことなどを聞くよい機会となり、保護者にとっては大学の就活への取り組みや、地元和歌山での就活事情などの情報を得るよい機会となりました。

参加された方からは、「就活の流れがわかり、少し不安がなくなった」「とても参考になった。子どもにアドバイスができそうです」「今後も継続してこのような企画をしてほしい」という感想をいただきました。

今後も、このような企画を通じて、学生・保護者・大学と地元和歌山をつなげるかけはしとなる活動を続けていきたいと思っています。

## ちょっとプチ紹介!

ポルトヨーロッパはインスタスポットとしても有名で、話題のドラマや映画、CMでもよく使われています。散策してみると、「このスポットはあのドラマの・・・」と気づくことでしょう。和歌山にお越しの際はぜひ。





## 山口支部

支部長 村尾 良子



### キャリア教育研修会

2018年9月1日(土) 村尾 良子

山口支部では、支部行事としてキャリア教育研修会を開催いたしました。

2018年は「明治維新150年」。この年にちなんで、萩焼作家、金子司先生に講師をお願いし、「人生と萩焼について」をテーマに、萩焼の道に入られた経緯や仕事に対する思いなどをお話していただきました。

先生は伝統を大事にしながら、独自の作風で、新しい萩焼にも挑戦されていました。使う人のことを考えて、日常使いやすい作品、工夫したデザインの作品をつくるために、材料や形を追求したり、技法を編み出したり、

そのための道具を自作したりと、意欲的に取り組んでおられます。相手のことを考えて、よりよいものをつくるという精神はどの仕事にも通じると感じました。いろいろなご苦労があるようですが、萩焼の仕事を楽しくおられることが、作品の素晴らしさにつながっていると感じました。

日本だけでなく海外でも、展示会やワークショップを行って、萩焼を世界に広められています。参加された方はみなさん、金子先生の仕事に対する思いや情熱を感じられたようです。お話だけでなく、絵付けの工程や多くの作品も見せていただき、たいへん有意義な一日を過ごすことができました。



## 九州支部

支部長 岩永 直子



### 教育・就職サポート講演会

2018年11月2日(金) 岩永 直子

2018年度の教育・サポート講演会は、11月に開催しました。天候の心配もありますが、少しでも早く就職活動の情報を得られるのではないかとということで、これまでの1月開催を早めた次第です。

今回は、①社会学の講義、②キャリアセンターから、③就活体験談という内容で実施しました。

まず、本学の巖圭介副学長に保護者向けの講義をお願いしました。「虫と植物と社会と世界、そして働くということ」という題で、生き物の進化についての話から社会学への内容に結び付けて話していただきました。大変興味深い話でしたので、時間が過ぎるのがとても速く感じられ、続きを望む声が多く聞かれました。

次に、キャリアセンターの星川大祐氏には、キャリアセンターの就職活動の支援について、具体的に話をいただきました。また、事前に伝えていた質問事項にも答えていただきました。就職活動をサポートする上で、多くの点で苦労されていることがよくわかりました。

最後に、社会学部社会学科4年生 秦佳瑞哉さんは、就職活動をするにあたり、社内環境や人間関係のよさを

重視したこと、面接で自分を自然に出せるようにしたことなど具体的に話してくださいました。お話を聴いていて、サッカーを通して培われた人間性が、面接や今回の報告にも生かされていると感じられました。

懇親会には、巖副学長をはじめ西田会長も参加していただき、交流を図ることができました。九州支部の団結力を、感じていただけたのではないかと思います。

講演会を開催するにあたり、たくさんの方にご協力いただきました。無事に終えることができ大変感謝しています。ありがとうございました。



# 広島支部

支部長 高宮 裕



## 入学式での広島支部紹介&活動説明会

2018年4月2日(月) 高宮 裕

入学式当日、広島支部役員4名で車に乗り合わせ、広島市を出発し、大学に行って来ました。保護者に教育後援会の支部を知っていただく今回初めての試みで、支部ブースが設置されました。広島支部の展示ブースは3号室204教室で、事前に作成した1年間の支部活動と行事の内容を記入して写真も掲載しました。また、少しでも新入生・保護者との接点を見つけるため、役員住所を町までと出身高校を掲載しました。さらに、地元プロ野球チーム・広島カープの優勝で、県内は大変盛り上がり上がっていましたので、カープ帽子とユニフォームを入り口に飾り、広島支部のブースが分かりやすいように展示しました。来場者が少



なかったため、3号館と噴水広場の間に向向き広島支部ブースのPRを行いました。1回目ということもあり課題は多く残りましたが、第一歩を踏み出したのですから前向きに受け止めて前進していきたいと思えます。

## 新入生保護者との懇親会

2018年5月26日(土)福山会場

27日(日)広島会場 高宮 裕

広島市と福山市は県の両端で100kmの距離があり、保護者の人数もちょうど半々ということで広島と福山の2つの会場で懇親会を開催しました。参加者は福山会場5名(保護者3名 役員2名)広島会場7名(保護者4名 役員3名)で、その後の総会にも出席いただき大変有意義な懇親会を開催することができました。

## ちょっとプチ紹介!

福山駅前にある福山城を紹介します。2022年に築城400年の節目を迎えるお城で、1619年に徳川家康の従弟・水野勝成が初代藩主となって、1622年に完成させました。駅の新幹線ホーム(上り)に降り立つと大迫力の石垣や天守を望むことができ、全国でも大変珍しい立地場所にあるのが特徴です。

# 岡山支部

支部長 計盛 鹿代



## 支部講演会

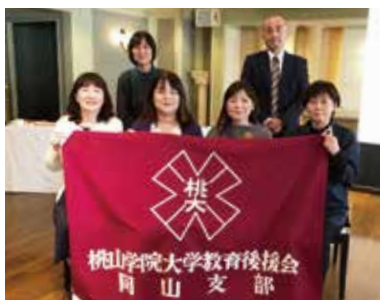
2018年11月25日(日) 計盛 鹿代

岡山支部には現在、60名の会員がおり、8名の役員で活動しています。

2018年度は7月の教育・就職懇談会/支部総会が西日本豪雨で中止となったため、大学と合同で教育・就職懇談会/支部講演会を行うはこびとなりました。教育・就職懇談会には、大学より友沢昭江副学長はじめ関係の職員の方々が出席されました。

支部講演会は、岡山県出身の在学生・卒業生を講師に、「就職活動体験や海外留学体験について」をテーマに開催しました。

「就職活動体験」では、法学部法律学科4年生 計盛湧矢さんからインターンシップや実際の就職試験・面接までのスケジュール、キャリアセンターの担当の方とのやり取りなど、具体的な体験談を聞きました。また、岡山県内の銀行に就職した卒業生(経営学部経営学科)中村隆貴さんが、学生時代の就職活動や現在の仕事の様子など学生へのアドバイスを話してくれました。



国際教養学部英語・国際文化学科2年生 河合美晴さんからは、香港・カナダへの短期留学の体験を、たくさんの写真を交えて分かりやすく紹介してもらいました。語学留学の魅力がよく伝わりました。

講演会に参加された保護者の中からは、就職活動について「親としてはどのようにサポートしたらよいのか」をはじめ、たくさんの質問がありました。

その後、昼食をとりながら学生や保護者同士で和気あいあいと話し、あっという間に時間が過ぎました。

2年間役員として、後援会の活動に携わせていただきました。役員会を運営したり支部講演会を企画したりする中で多くの経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。





## 山陰支部

支部長 川端 今日子



### 就職支援講演会

2018年11月24日(土) 川端 今日子

山陰支部では毎年、就職支援講演会を開催しています。昨年から地元企業の人事担当者様をお招きし企業側の採用活動について講演していただいております。今回のテーマは「企業が求める人材」について。まじめで素直・主体性・行動力等をキーワードに、お話を聞くことができました。

本学キャリアセンター 奥健太氏からは「1年から始める就職活動の進め方」というテーマで、早期内定を勝ち取る学生の特徴・学校での過ごし方・保護者の対応等、具体的にわかりやすくお話いただきました。講演会後のアンケートでも話の内容や資料がよかった、子どもにも聞かせたい等の感想をいただきました。

就職活動体験談では、法学部法律学科4年生 奥山有紗さんより「後輩に送る就活のポイント」として、就職活動の進め方についてお話をいただき、早期からの積極的な活動が大切だということを改めて感じました。

ふるさと鳥取県定住機構およびふるさと鳥根定住財団の職員の方にも、地元就職希望者及びUターン希望者にとって参考になる資料や支援内容の詳細なお話など、

貴重な就職情報を提供いただきました。地元就職希望者にとってはとても心強い味方です。

就職支援講演会を通し、私たち保護者がどのように子どもたちの就職活動を応援していくのか、またどのように関わっていけばよいのか、考える機会となりました。今後も、支部の活動として、より一層多くの情報を発信できるように役員一同頑張っておりますので、皆様のご理解と、ご協力を賜りますようお願いいたします。講演会を開催するにあたり、多くの皆様のご協力に心より感謝申し上げます。



## 四国支部

支部長 俊長 幸子



### キャンパス見学に参加して

2018年11月17日(土) 田中 久文

桃山祭の開催期間を利用した教育後援会主催のキャンパス見学に、四国支部からは4名が参加しました。天気は晴れで外気温は20℃。本学職員の方に、奈良・三重支部の方々と一緒に案内していただきました。

案内に謳われている「日頃見ることができない大学施設の見学」に参加者一同期待して集合しました。

まずは腹ごしらえ！ 学生出店の模擬店自慢の味に舌鼓を打ち、お腹も落ち着いたところで支部参加者や本部役員の皆様と和やかな雰囲気にてスタートしました。

最初に教育後援会 西田秀治会長のご挨拶があり、

「学生の意識の変化により年々、桃山祭への出店数や参加人数が減少傾向にあります。最盛期は聖ペテロ館とチャペル間の学院通り両サイドを出店が連なっていた」旨をご説明いただきました。

その後、各自へ配付していただいたマップをもとに以下の経路にて巡回しました。

- 「聖トマス館」 1) 模擬裁判教室  
2) コンピューター実習室
- 「聖アンデレ館」 3) オーディオルーム  
4) 図書スペース
- 「総合体育館」 5) スポーツオフィス
- 「聖ヨハネ館」 6) キャリアセンター資料室  
7) ヨハネホール(国際交流室)

参加者にとってのキャンパス見学会は、親元から離れた子どもの教育環境と、キャンパスライフの雰囲気を体験いただける有意義な機会であります。自宅とは違う我が子の表情を見ることができ、また教育後援会活動を通じた全国の仲間との交流から自身の足跡を見つめ直すことで、親子関係や自身のキャリアについても今一度考えるきっかけとなりました。キャンパス見学会に参加することで、大学の教育環境、子どもの成長に驚き、自分自身、新たな発見ができました。会員の皆様、ご参加いただきありがとうございました。



# 北陸支部

支部長 松田 規美栄



## ご挨拶

松田 規美栄

2017年6月の支部総会より、支部長を2年間務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

北陸支部の会員は、67名です。新潟・富山・石川・福井の4つの県で構成され、おもに顧問を含めて8名の支部役員で運営しています。

支部総会には、1年生の時から参加させていただいており、同時に行われる教育・就職懇談会では息子の成績や大学における就職状況の説明を詳しく知ることができます。私は、入学時全く知り合いがいなくて不安でしたが、支部活動を通じて保護者の皆様に子どもの相談、大学の取り組み、特長を教えていただきとても助かりました。先生方も入学から卒業まで一人一人の学生に親身になってくださり、おかげさまで大学4年間とても充実した学生生活を送ることができました。本当にありがとうございました。

今思えば、積極的に支部活動に参加させていただき、大学からの情報を早く知り、役員の皆様とそして息子と情報

を共有しながら過ごしたことがよかったです。教育後援会という大学と保護者が連携して学生を支援していく場を、多くの皆様に活用していただけたらと思います。

北陸支部の今後の益々の展開を期待しております。

## 教育就職説明会

2018年12月2日(日) 松田 規美栄

福井市地域交流プラザにて、講師に牧野丹奈子学長、嶋田剛統括部長、キャリアセンター 松本雄一氏、国際教養学部英語・国際文化学科4年生 野口理佳さんを招いて開催しました。大学の特長や取り組み、今後どんな力を身につけていけばよいのか?親の私達も大変参考になりました。就職体験談の野口さんからは自己分析の大切さを教えていただきました。

先生方、支部役員の皆様、参加していただいた皆様、ありがとうございました。



# 東海支部

支部長 伊藤 克也



## 教育・就職懇談会

2018年12月16日(日) 教育後援会副会長 羽山 春美

7月に台風の影響で中止となりました教育・就職懇談会が、12月16日に開催されました。吉弘憲介経済学部准教授より本学の教育と現状および単位履修について、また嶋田剛大学統括部長より就職状況についてご説明いただき、学生の就職活動体験ビデオも交えて質疑応答等交わされました。

## 支部活動に関するお願い

東海支部は、数年役員が不在のため本部預かりとなっておりますが、2017年の教育・就職懇談会において、3年生保護者の方がおひとり役員を引き受けてくださいま

した。2018年の懇談会でも、あらたに3年生保護者の方に引き受けていただくことができました。ただし、今後も継続して本格的な支部活動を行うためには、おひとりでは負担が大きい上、組織活動として限界があります。

このような活動は、子どものためだけではなく、親のまなびの場にもなると思います。東海地区の会員の皆様、ぜひ、支部役員としてお手伝いいただくことはできないでしょうか。何卒ご一考いただけますよう、よろしくお願いいたします。



## 春 学 期

|                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| 4月 2日(火)           | 入学式                       |
| 4月 3日(水)           | 新生オリエンテーション               |
| 4月 4日(木)           | 春学期授業開始                   |
| 4月 4日(木)~10日(水)    | 春学期履修登録                   |
| 4月 15日(月)          | 創立記念日(平常授業)               |
| 7月 24日(水)          | 春学期授業終了                   |
| 7月 25日(木)~8月 1日(木) | 春学期末試験                    |
| 8月 2日(金)           | 夏期休暇開始                    |
| 8月 2日(金)~31日(土)    | 夏期集中講義期間<br>(学院一斉休暇期間を除く) |
| 8月 8日(木)~10日(土)    | 春学期末追試験(予定)               |
| 9月 18日(水)          | 夏期休暇終了                    |

## 秋 学 期

|                   |               |
|-------------------|---------------|
| 9月 19日(木)         | 秋学期授業開始       |
| 9月 19日(木)~25日(水)  | 秋学期履修登録       |
| 9月 21日(土)         | 9月卒業証書・学位記授与式 |
| 11月 15日(金)~17日(日) | 大学祭(休講)(予定)   |
| 11月 29日(金)        | 聖アンデレ日礼拝(予定)  |
| 11月 30日(土)        | 学院逝去者記念礼拝     |
| 12月 12日(木)        | クリスマス礼拝(予定)   |
| 12月 23日(月)        | 冬期休暇前授業終了     |
| 12月 24日(火)        | 冬期休暇開始        |
| 1月 4日(土)          | 冬期休暇終了        |
| 1月 6日(月)          | 冬期休暇明け授業開始    |
| 1月 21日(火)         | 秋学期授業終了       |
| 1月 22日(水)~29日(水)  | 秋学期末試験        |
| 2月 5日(水)~7日(金)    | 秋学期末追試験(予定)   |
| 3月 17日(火)         | 卒業証書・学位記授与式   |





教育後援会  
会長 西田 秀治

保護者の皆様におかれましては、日頃より後援会活動にご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。また、今年度、桃山学院大学に入学されたご子息、ご息女にお祝いを申し上げますとともに、保護者または保証人の皆様方に心より喜び申し上げます。

さて、桃山学院大学教育後援会は、イコール「保護者の会」です。大学における出来事、学生の暮らしなどを、大学が保護者の皆様に情報を提供し、また保護者の皆様が大学に気兼ねなくお尋ねになれるようなコミュニケーションを容易にするという重要な役割を担っております。

大学の関係団体には、卒業生の組織である「一般社団法人桃山学院大学同窓会」もございますが私達の教育後援会と同窓会とは、それぞれ独立した組織で活動しております。

会長、副会長、会計などの役員を中心に、支援、広報、組織の各委員会により運営を行い、全国14の支部と共に活動を行っております。

教育後援会の大きな目的のひとつに、「大学と家庭との架け橋」がありますが、最大の保護者の皆様との接点は、6月から7月上旬にかけて、西日本を中心とした14の支部で大学の主催で開催する「教育・就職懇談会」です。

学長、副学長、学部長、大学の教務やキャリア（就職）担当者の方々が各地に出向かれ、子女の学業や学生生活、成績懇談また就職懇談など、ご父母への情報提供、大学

関係者と懇談できる機会を提供しております。

学校の出口である「就職」への皆様の関心は極めて大きなものがあります。但し、「よい就職には充実した学生生活」が必要となりますが、この4年間のプロセスがきちんとなされることが大変重要と考えています。学生の自主活動として、クラブ・同好会などの課外活動がありますが、これらは人格形成・人間形成に役立つ教育の場と大変、有効な活動で、本会では、多くの支援を行っています。

また、近年の就職活動は、IT発達、産業構造の変化等により様変わりしております。保護者の皆様からは、今の就活とはどのようなものか、親は子どもに対して、どんな対応を取るべきかなどのご質問が多くあり、大学から正しい情報をご父母に伝えることが、学生にとっても、大学にとっても必要なだと痛感しています。

教育後援会は、保護者の立場より大学とご家庭の架け橋となり、学生の成長を願い大学の発展の一助となるよう活動して参ります。保護者の皆様の益々のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## 教育後援会全国支部長会議

2018年10月13日(土) 本部 羽山 春美

ホテルアウィーナにおいて、大学関係者、教育後援会本部役員、全国支部支部長等の出席のもと開催いたしました。開会にあたり西田秀治会長および牧野丹奈子学長より挨拶がなされました。本部からはおもに学生・大学支援活動、国際交流支援活動、キャリア支援活動、組織運営活動、広報活動の各委員会より、2018年度活動方針や総会以降の活動内容、予定等について報告いたしました。支部からは、近況や活動予定を中心にご報告をいただきました。

会議終了後はグループディスカッションが行われ、今後の支部活動や教育後援会の在り方等についても活発に意見交換をすることができました。



# 私達と一緒に 活動しませんか？

教育後援会は、保護者・保証人と大学とのかけはしとなり、  
お子様の学生生活をサポートするため、様々な活動を行っています。  
只今、一緒に活動していただける方を募集しております。  
教育・就職懇談会にて各支部の役員まで、ご連絡ください。  
日程については、5ページを参照してください。

教育後援会の  
ホームページにアクセス  
いただけるようQRコードを  
掲載しました。  
保護者・保証人の皆さまに役立つ  
情報を多数掲載しています。  
ぜひご利用ください。



## 教育後援会の主な支援内容

- 1 クラブ・サークル活動、ボランティア活動、課外活動等への支援
- 2 国際交流への支援  
(国際ワークキャンプ、  
海外研修等)
- 3 教育・就職懇談会  
開催への支援  
(全国14支部)
- 4 支部企画による  
講演会等への支援
- 5 教育後援会経済  
援助奨学金
- 6 広報誌「かけはし」  
「ももやま」の発行

## CONTENTS

- 1 キャリアセンターからのお知らせ  
2019年3月卒 進路状況
- 2 失敗しないために心がけたい  
就活準備、就活スケジュール
- 3 学長挨拶 これからの社会に必要な「気づき力」  
聖書の言葉
- 4 第18回「留学生振袖の会」開催  
第14回ビジネスプランコンテスト  
100円朝食
- 5 Congratulations!  
2019年度 教育・就職懇談会／支部総会日程  
優秀団体援助金
- 6 第58回桃山祭  
第9回ボランティア活動等発表会

### 支部だより

- 7 大阪南／大阪北
- 8 京都・滋賀／奈良・三重
- 9 兵庫／和歌山
- 10 山口／九州
- 11 広島／岡山
- 12 山陰／四国
- 13 北陸／東海  
2019年度学年歴
- 14 会長挨拶 大学と家庭との架け橋  
教育後援会全国支部長会議

### 裏表紙

私達と一緒に活動しませんか？  
CONTENTS  
編集後記

### 編集後記



元号が「令和」に変わって最初の発行となりました。「かけはし」vol.10をお届けします。今回は特集として、失敗しないために心がけたい就活準備など、保護者の方の関心が高いキャリアセンターからの情報を取り上げました。また、教育後援会のホームページにスムーズにアクセスしていただけるようQRコードを

掲載しました。ぜひご利用ください。

今後も教育後援会の活動を中心に種々の情報を発信してまいります。どうぞよろしく願いいたします。発行にあたりご支援・ご協力をいただいた皆様に深く感謝申し上げます。

(教育後援会 広報 羽山 春美)

表紙写真：本部写真部 / 表紙題字：教育後援会 元副会長 佐藤 静子

## 桃山学院大学教育後援会

大阪府和泉市まなび野1番1号 TEL.0725(54)3131(代)  
URL <http://www.andrew.ac.jp/koyu/kouenkai.html>